

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 93 号 2023 年春号

2023 年 6 月 2 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415
<http://nadogaya-biotope.com/>

3年ぶりの田植えです！

～今春は全国で気温が高く、生きものの生育も早いです～



賑やかな田植えは楽しいですね

今年は2月、3月の定例活動日に稲株踏みを行いました。株踏み後の田んぼにカルガモ十数羽が連日飛来したため水が濁り、カエルの卵塊確認が困難になってしまいました。来年は元の日程に戻します。4月16日に元肥(バイオ有機肥料)散布を行い稲作作業が始まりました。今春は全国的に気温が高く生きものや植物の生育も早いです。昨年より10日早くツバメの初飛来も確認しています。連休前の28日から畔の補修、田んぼ内の草取り、板

均しを行い、4日の朝に影山(清)さんの軽トラックで藤心ライスセンターから苗を引き取りました。「子供の日」前日でしたのでビオトープの「ショウブ」を刈り、近隣の皆さんにも持ち帰っていただいています。6日は3年ぶりの一般参加8人、会員27人とこれまでで最大人数での賑やかな田植えになりました。うるち苗は千葉県産の「コシヒカリ」です。

(小笠原 智)

「田植え、楽しかったです」

～ 名戸ヶ谷小学校 5年生 ～

新型コロナウイルス上の分類が緩和され、名戸小の田植えは予定通り 11 日に行われました。久米さんが事前に学校で稲作についての説明会を実施、当日は好天に恵まれて児童 67 人が元気に田んぼに入りました。お母さん達も応援に来て大きな歓声がビオトープに響いていました。泥んこになりながらも楽しい時間を過ごしました。植えた苗はもち苗で「満月」、皇居で陛下が植えている品種と同じです。9月の稲刈りまで稲の成長を観察してください。 (小笠原 智)



田植えの感想文をもらいました

○5年1組

S.Y

田植えをして、思うように足が動かせなかったり、冷たかったりして、びっくりしました。自分が植えた稲がどのように育っていくのか、とても気になりました。田植えをしていたら、いろいろな生き物を見ることができました。カエルやトンボもいました。深くて動きづらかったけれど、おもしろい体験ができてよかったです。次の稲刈りが楽しみです。

○5年2組

K.H

今日田植えをしました。増尾城址公園ではなく、ビオトープで田植えをしました。土はやわらかくて、すっと足が抜けました。いろいろな生き物がありました。カエル、おたまじゃくし、くもなどに会えました。今度の稲刈りが楽しみです。

ニホンアカガエル卵塊の観察会

1月28日(土)から2月25日(土)まで5回に渡り観察会を行いました。前半は冷え込みであたり一面に氷が張って全く確認出来ませんでした。

掲示板には案内ポスターを張り出しましたが、市民参加は1名のみで残念です。

後半の2月11日(土)にやっと3個を確認し、定例活動日の18日は41個と増えて多くの会員が田んぼをめぐり観察出来ました。最終日

2月25日は、更に増えて97個でした。

一方、小笠原さんの確認では104個です。一部の卵塊は大きく崩れ始めて数の確認が難しい状況です。うるち田 No7 では既に孵化が始まり極小のオタマジャクシが動いていました。

日差しが暖かくなると共に一気に孵化と新しい卵塊が出てきます。これから無事に成体となって生き残って欲しいです。(藤平 三郎)

ニホンアカガエルの卵塊数推移

年	月日	天気	気温	合計	Aゾーン	Bゾーン	参加者	その他の確認日
2023	2月25日	晴れ	10°C	97	97	0	4名	104個
	2月19日	晴れ	8°C	41	41	0	24名	
	2月11日	晴れ	9°C	3	3	0	4名	
	2月9日	晴れ	6°C	0	0	0	6名	2名市民1名
	1月29日	晴れ	5°C	0	0	0	4名	
2022	2月29日	晴れ	9°C	111	110	1	8名	3月6日 169個
	2月19日	曇り	4°C	55	54	1	14名	2月20日 101個
	2月12日	晴れ	4°C	0	0	0	3名	2月16日 18個
	2月6日	晴れ	4°C	0	0	0	10名	2月14日 11個
	1月30日	曇曇り	5°C	0	0	0	2名	
2021	2月27日	晴れ	6°C	124	121	3	9名	
	2月20日	晴れ	14°C	67	59	8	15名	
	2月13日	晴れ	13°C	0	0	0	9名	2月14日 4個
	2月6日	晴れ	10°C	1	1	0	12名	
	1月30日	晴れ	10°C	0	0	0	11名	



会員らが卵塊を確認中



ニホンアカガエルの卵塊

初めての田植え



入会が昨年 7 月だったため、今回念願の田植えを初めて経験することができました。

諸先輩のご指導に感謝申し上げます。

諸先輩がおっしゃる「日本一深い田んぼ」での田植えは、「水を抜いてある」との事前のご説明がありましたが、昨年経験済みの稲刈り同様、ズボズボと膝上まで埋まり、絶対に意地でもこけないように最大の用心をしながらバランスをとり（このため作業が遅れましたが、水没回避のためにはやむなし、と自分で納得しておりました）、予め記された線に沿って、25cm間隔で、苗を3～4本ほど切り離して、土の中にきちんと植えるように努力しました。しかし、深すぎると苗が全て沈没してしまうし、浅すぎると浮いてしまいそうで、その加減を修得するのにも手間取り、

一緒にスタートラインに立った横の方には、最後は大きく引き離されてしまうという始末で、本当に厳しい戦いでした……。ここ数年毎日2万歩を日課としているため、足腰は人並み以上と自信を持っていたのですが、この日本一深い泥の田んぼには打ちのめされそうでした……

調べてみると、昔の田植え労働の中心的な担い手は早乙女と称された女性たちであり、男性は専ら苗代での苗取りや苗運び、田んぼの代かき、整地などに従事していたようです。やや力任せの稲刈りと違い、苗を泥水の土の中に植えるという、料理の盛り付けのような繊細な作業は私には難しいと実感した次第ですが、懲りずに来年も是非、田植えに再チャレンジしたい、と思っております。(河北 俊一)

月例活動状況のお知らせ (3月から5月まで)

3月19日 (土)

田んぼの水は少し冷たかったですが、前日の雨から天気は回復して多くの会員が参加しました。先月の作業で残った田んぼの株踏みとBゾーン木道脇の草刈りです。田んぼにはニホンアカガエルの小さなオタマジャクシが泳ぎ始めています。作業後に数人の会員が、ツクシ、セリ、ヨモギ、クレソンを試食しようと摘んでいました。そして会員らの歓談で無事に終わりました。



うるち田 No7 株踏み



うるち田 No2 株踏み



Bゾーン木道沿いの草刈り

4月16日 (土)

作業始める前に松清さんからヘイケボタルの生態について説明がありました。昨年より卵から孵化させ育てたもので、会員らは容器の中の幼虫に興味深く観察しました。幼虫約 120 匹をホタル水路に放流しました。

作業は、田んぼへの肥料散布、畔回りの土の戻し、ザリガニ釣り場の葦の刈り取り、Bゾーンの草刈りでした。会員手作り料理で歓談し、カエルの声が快い響きでした。



ホタル水路へホタル幼虫を放流



肥料の散布



畔まわりの土の戻し

5月20日 (土)

作業はもち田の苗の植え直し、ホタル水路脇の草刈り、Bゾーン木道脇の葦の刈り取りを行いました。生きもの観察会と同日。生きもの観察会は、掲示板にお知らせしましたが市民参加はありません。作業を終え、会員らへ松清さんから本日、捕獲したアメリカザリガニ、カダヤシ、ウシガエル (オタマジャクシ) などの外来種について詳しい説明を聞きました。そして予定の作業を終えました。ツバメが数羽、田んぼの上を飛び交っていました。(藤平 三郎)



ホタル水路脇の草刈り



もち田 No1、3の苗の植え直し



生きもの観察会の説明を聞く

新入会員紹介

～村岡美和さん（輝慶さん）・和奏（わかな）さん

・健成（けんせい）くん～

5月から家族会員となりました、
村岡と申します。

母の私は、転勤族の家庭で育ちました。「生まれ育った故郷はどこ？」と聞かれても、ピンとくる場所が思い当たらないのですが、大自然や生き物に囲まれて小学生の数年間を伸び伸びと過ごした和歌山県の田舎が私の心の故郷で、自然や動植物が大好きになった原点だと思っています。

柏生まれの子供たちも自然遊びや生き物が大好きです。夏にはトンボ



やバッタを追って夕暮れまで走り回り、家ではカブトムシや蝶、メダカなどを卵から育てて楽しんでいますが、家庭レベルでは、どんどん膨らむ子供たちの好奇心や、自然の中で遊びたい欲求を満たすのは難しいなあ、と常々感じているところでした。

そんな折、偶然にも名戸ヶ谷ビオトープの事を知り、行ってみると、正に私の心の故郷のような場所で懐かしく、自宅の近くにこんな自然が豊かな一画があったことに心が躍りました。「この環境を守らなければならない。そして、子供たちには自然の中でたくさん遊び、多くを学んでほしい！」という思いから、すぐに家族で入会することに決めました。

やんちゃ坊主にお転婆娘、環境を守る活動に関してド素人な父と母ですが、今後の活動を親子で楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

6～8月の活動予定

6月 ●17日：6月定例活動日

7月 ●15日：7月定例活動日

8月 ●19日：8月定例活動日

注) 詳細の日時・作業内容は担当幹事からメールにて連絡します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）